

医療機器認証番号：22600BZX00092000  
 高度管理医療機器 重要パラメータ付き多項目モニタ 33586003  
 特定保守管理医療機器「生体情報モニタ Accumil V7000シリーズ」の構成品  
**NMT センサ固定バンド TypeV**  
**NMT メインケーブル TypeV**  
**NMT 刺激ケーブル TypeV**  
**NMT トランスデューサケーブル TypeV**

**【禁忌・禁止】**

**<使用方法>**

・再使用禁止

構成品には単回使用に限るものがあります。

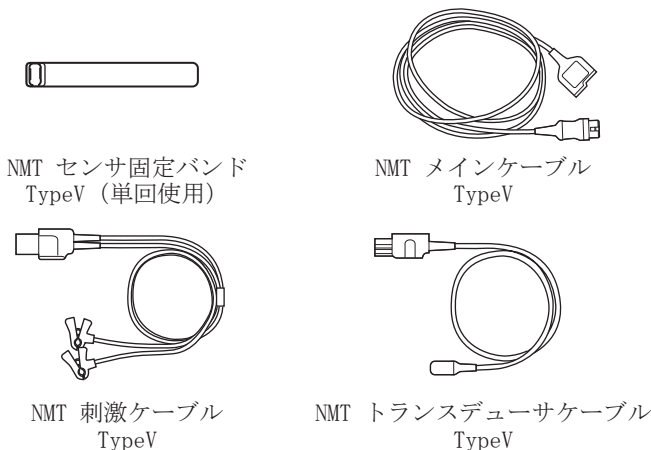
**<併用医療機器> 「相互作用の項参照」**

- ・磁気共鳴画像診断装置 (MRI装置) を併用しないでください。[MRI装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。]

- ・電極やケーブルを接続する際、コネクタがアースを含む伝導性部に接触しないようにしてください。
- ・消毒時は、ケーブル等を消毒剤に浸したり、コネクタ部を湿らしたりしないでください。
- ・ケーブルは、ケーブルコネクタを持ち、抜いてください。適切に抜かないと使用寿命が短くなります。
- ・指定の機器以外、接続しないでください。[本来の性能や機能が損なわれ、重大な事故を引き起こす可能性があります。]
- ・長期にわたって測定する場合、ケーブル等が押さえつけられ、患者を圧迫していないことを適宜確認してください。[血流を阻害し、圧迫壊死を生じることがあります。]

**【形状・構造及び原理等】**

1. 構成



**<相互作用 (他の医薬品・医療機器等との併用に関する事) >**  
1. 併用禁忌 (併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置 (MRI装置)	MRI装置と併用しないでください。	MRI装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。

**【保管方法及び有効期間等】**

**<保管の条件>**

温度範囲：-20～60℃

湿度範囲：10～95%

**<使用期間>**

ひびや変形などの劣化、またはセンサを認識できないなどの症状が発生した場合は新しいアクセサリに交換ください。

**【保守・点検に係る事項】**

**<使用者による保守点検事項>**

取扱説明書に従い、使用前の日常点検および洗浄または消毒を実施してください。必要に応じて、洗浄または消毒を実施してください。

**洗浄**

1. 水で湿らせた綿布または柔らかい布で洗浄します。
2. 洗浄後、柔らかい布で水分を拭き取り、空気乾燥させてください。

**消毒**

推奨する消毒剤：エタノール70%、イソプロパノール70%

1. 上記の方法で洗浄後、推奨された消毒剤を使用し、綿布または柔らかい布で拭いてください。
2. 消毒後は必ず水で湿らせた柔らかい布で残留した消毒剤を拭き取り、空気乾燥させてください。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元：フクダ電子株式会社

外国製造業者：Shenzhen Mindray Bio-Medical Electronics Co., Ltd. (中国)  
シンセン マインドレー バイオメディカル  
エレクトロニクスカンパニーリミテッド

**適用機器**

適用機器	医療機器認証番号
生体情報モニタ Accumil V7000シリーズ	22600BZX00092000
生体情報モニタ Accumil V6000シリーズ	22600BZX00264000

2. 動作保証条件

温度範囲：0～40℃

湿度範囲：15～95%

**【使用目的又は効果】**

生体情報モニタに接続し、電気的に運動神経を刺激した後の筋反応の強さを測定するために使用します。

**【使用方法等】**

**<組み合わせて使用する医療機器>**

販売名	製造販売業者	医療機器届出番号
レッド ダットTM モニタリング電極 (2245-50)	スリーエム ジャパン株式会社	13B1X10109000192

筋弛緩モジュール VMOD-NMT (販売名：生体情報モニタ Accumil V7000シリーズの構成品) に接続して使用します。接続する生体情報モニタの取扱説明書を参照してください。

**【使用上の注意】**

**<重要な基本的注意>**

- ・ケーブル類の配線に注意してください。[患者に絡みついたり、締め付けたりする危険性があります。]
- ・頻繁な消毒は劣化が進むため、消毒後はひびや変形などがないことを確認してください。

接続する機器の取扱説明書を必ずご参照ください。



046-011605-00(1.0)

4L0115920